

请考生注意：

无论本试卷中有无答题位置，均应将答案做在考场另发的答题纸上（写明题号）。

華 東 師 範 大 学

共 4 页

2005 年攻读硕士学位研究生入学试题

考试科目： 综合日语

招生专业： 日本语言文学

総合試験

(180分内完成)

問題Ⅰ、次の漢字に振り仮名をつけなさい。(10点)

- ①営む() ②健やか() ③縮む() ④備える()
 ⑤築く() ⑥省く() ⑦究める() ⑧率いる()
 ⑨練る() ⑩敬う()

問題Ⅱ、次の言葉の反対の意味を書きなさい。(12点)

- 1、浪費() 2、慎重() 3、衰亡()
 4、平凡() 5、冷淡() 6、否決()

問題Ⅲ、次の外来語の意味を日本語に訳しなさい。(10点)

- ア、ギャップ() イ、キャラクター() ウ、クレーム()
 エ、コンディション() オ、コンプレックス() カ、スキル()
 キ、パニック() ク、リハビリ() ケ、ルーズ()
 コ、パフォーマンス()

問題Ⅳ、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(73点)

19世紀における、そして今日もその優位を保っている実証科学の位置というものを、ぼくはこう考える。科学者たちは、ちょうど中世における聖職者と同じ役割を果たしている。その意味で、近代ヨーロッパは中世の a、ケイショウであり、ともにふくめてギリシャの古代文明と対立すると思うのですが、(1) 中世において聖職者と善男善女とが分裂していたように、近代ヨーロッパ文明においては、科学者と民衆とが分裂しております。知識階級と大衆とが分離しております。善男善女が魂の鍵を聖職者に預けてしまっていたのとまったく同様に、民衆は判断の基準を科学者や知識階級に預けております。科学者が演出し、民衆はそれにあわせて踊らされた。といたいところだが、じつはかならずしもそうとばかりはいえない。なぜなら科学者自身もはたしてよく演出しえたのでしょうか。かれらもまた踊らされたのではなかったか——ほかでもない。実証主義精神というものに。19世紀において、それは中世の神とまったく同じ役割を演じたのです。(A) 中世の聖職者たちはそのことを自覚していた。それらは教会を司り

善男善女を導き、中世的世界の演出をやりながら、それがすべて演戯にすぎないことを承知していた。みずから演出しながら、また神によって演出される配役の一人にすぎぬことを自覚していた。(B) 演戯の自由を保持しえたのです。が、近代においてはその科学者たちは——(2)、人間たちは、といってもよい。——自分が演出者であり、人間が世界の主体であるという自覚のために、(3) 逆に(甲) の地位に落ちてしまったのです。人間とはそういう奇妙な存在であります。人間が自らの主たるためには、人間のうえに(イ) 主たる存在を設定しなければならない。自らが自らをよく演出するためには、進んで被演出者の位置につかなければならない。演戯とははそういうことをいうのだ。それは自ら意志して操られることでもあります。(ロ) そうすることによって中世という時代はひとつの芸術として完成しえた。が、近代人は、けっこう操っているつもりでいるために、結局は操る人形に b. ダラクしてしまっただのです。

中世はたとえ聖職者と善男善女とに分たれていたとはいえ、絶対者としての神の存在がその二元分裂を防いでいた。(4) 二つの横の対立の世界に対して、神が縦に対立していたのであります。が、近代ヨーロッパでは、この縦の対立の観念が徐々に c. キハクになってまいりました。人間だけが人間の主人公であることを主張し始めました。人間の上にかなる権威をも認めようとはしなかったのです。それは、ほかでもない、宗教改革の主題であります。が、ルネサンスにおいては、(ハ) そういう主題さえ、ひとつのみごとな演戯でありえた。(D)、絶対者の神がなお君臨していたからにはほかなりません。ルネサンス人は人間が人間の主たる芝居を演じていたのであります——そんなことは不可能であると、どこか心の奥底で感じながら。そこに演戯精神は生きていた。(E)、19世紀の実証科学の精神に憑かれた人たちは、人間が人間の主たらねばならぬという主題から仮説性を消却してしまっただ。科学は(5) 仮定に d. イキヨしているものです。が、その科学は19世紀にいたって、自らの仮説性を忘失し、e. ゲンゼンたる真理の体現者をもって自任し始めた。実地検証が流行しだしたゆえんです。演戯精神は地に落ち、人々は(6) 真理を見ようとし、自ら真理になろうとした。

福田恒存『芸術とはなにか』

問1 傍線部 a. ~e に当たる漢字を次のア~オの中から選びなさい。(15点)

- | | | | | | |
|----|------|------|------|------|------|
| a. | ア 警鐘 | イ 形象 | ウ 継承 | エ 携召 | オ 携招 |
| b. | ア 墮落 | イ 惰落 | ウ 遂落 | エ 墜落 | オ 随落 |
| c. | ア 稀薄 | イ 稀簿 | ウ 稀白 | エ 揮薄 | オ 氣迫 |
| d. | ア 依拠 | イ 依挙 | ウ 以挙 | エ 維拠 | オ 維挙 |
| e. | ア 現前 | イ 眼前 | ウ 現然 | エ 嚴然 | オ 嚴前 |

問2 空欄に A~E に入れるべき語を次の中から一つずつ選びなさい。(20点)

ア、が イ、そして ウ、それゆえに エ なぜなら

問3 空欄(1)～(6)に入れるべき語を次の中から一つずつ選びなさい。(18点)

- ア あたかも イ いや ウ いわば
エ かえって オ ひたすら カ もともと

問4 空欄甲に入れるべき語を次の中から一つ選びなさい。(5点)

- ア 絶対者 イ 聖職者 ウ 善男善女 エ 科学者
オ 神 カ 観衆 キ 演出者 ク 被演出者
ケ 民衆 コ 人間

問5 傍線部(イ)とは何か、次の中から一つ選びなさい。(5点)

- ア 実証科学 イ 科学者 ウ 知識階級 エ 神 オ 教祖
カ 聖職者 キ 法王 ク 教会 ケ 皇帝 コ 君主

問6 傍線部(ロ)とは何か、次の中から一つ選びなさい。(5点)

- ア 聖職者が教会を司ること
イ 聖職者が善男善女を導くこと
ウ 聖職者が主たる存在を設定すること
エ 聖職者が演出者であると自覚すること
オ 聖職者が中世的世界を演出すること
カ 聖職者が意識して被演出者の位置につくこと
キ 聖職者が演出者の立場に徹すること
ク 聖職者がやむをえず被演出者の位置につくこと

問7 傍線部(ハ)とは何か、次の中から一つ選びなさい。(5点)

- ア 古代文明を復興すること
イ 聖職者の特権をなくすこと
ウ 聖職者も人間であるということ
エ 人間は自由であるということ
オ 人間が人間の主であるということ

問題V 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(25点)

白い茶わんにはいつている湯は、日かげで見ては、べつにかわった模様もなにもありませんが、それをひなたへ持ち出して直接に日光をあて、茶わんの底をよく見てごらん
なさい。①そこには妙なゆらゆらした光った線やうすぐらい線が不規則な模様になって、
②それがゆるやかに動いているのに気がつくでしょう。③これは夜、電燈の光をあてて
みると、もっとよくあざやかに見えます。夕食のお膳の上でもやれますからよく見てご

らんなさい。

つぎに、茶わんのお湯がだんだんに冷えるのは、湯の表面や茶わんのまわりから熱がにげるためだと思っいいいのです。もし表面にちゃんとふたでもしておけば、冷やされるのはおもにまわりの茶わんにふれた部分だけになります。④そうなると、茶わんに接したところでは湯は冷えて重くなり、下の方へ流れて底の方へ向かって動きます。⑤その反対に茶わんのまん中の方では逆に上の方へのぼって、表面からは外側に向かって流れる、だいたいそういうふうな循環が起こります。よく理科の書物などにある、ビーカーの底をアルコール・ランプで熱したときの水の流れと同じようなものになるわけです。これは湯の中にうかんでいる、小さな糸くずの動くのを見ていても、いくらか分かるはずです。

問1 下線①「そこ」とはどこのことか。(5点)

問2 下線②「それ」は何を指しているか。17文字で答えなさい。(5点)

問3 下線③「これ」は何を指しているか。次から選びなさい。(5点)

問4 下線④「そうなる」とは、どうなることか。35字以内で答えなさい。(5点)

問5 下線⑤「その反対」の「その」とは何を指しているか。30字以内で答えなさい。(5点)

問題VI 次の問題を読んで、4百字ぐらい書きなさい。(20点)

「猿も木から落ちる」「失敗は成功のもと」「ローマは一日にして成らず」など、日本人の暮らしの中でも多くのことわざが使われていますが、ことわざというものは、どこの国にもあると言ってよいでしょう。

ことわざが、どこの国にもあって、長い時間にわたって、多くの人に親しまれているとしたら、それには何か理由があるに違いありません。ことわざは民衆の知恵と言われることも参考にして、なぜ、ことわざというものがあるのか、あるいは、ことわざはどんな役に立っているか、について、あなたの考えを自由に述べなさい。